

増築庁舎(新庁舎)で福祉部などの業務を開始しました

三日月庁舎西側に建設していた増築庁舎(新庁舎)が完成し、8月6日(月)から福祉部や三日月総合窓口係の業務を新庁舎で開始しました。

今後も引き続き、三日月庁舎の改修工事を実施しますので工事が終わるまでは、三日月庁舎東側駐車場の使用ができません。

福祉部などにご用の方は、新庁舎の正面玄関南側の第一駐車場をご利用ください。

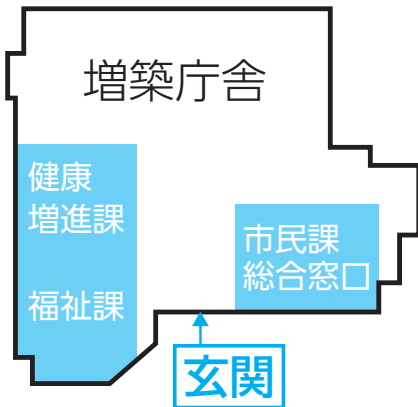


▲福祉課、健康増進課



▲市民課総合窓口

《12月までの増築庁舎(新庁舎)配置図》



【問合せ】☎企画課
本庁舎移行推進係
担当 池田・野口
☎73・8837

市のホームページから
新庁舎で検索!

工事期間中は、工事車両の進入や騒音などで、市民の皆さまには大変ご不便をおかけするところにご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をよろしくお願い致します。
工事の進捗状況の写真などは、市のホームページにも掲載しています。

小城市日々雇用職員募集

◆採用日 10月1日(月)

◆応募方法

(郵送の場合)

封筒の表に「履歴書在中」と朱書きして左記に送付してください。

〒845-1850-1

小城市小城町253番地21

小城市教育委員会学校教育課宛

(持参の場合)

●学校教育課

※注意事項

- ・履歴書には必ず写真を添付し、昼間連絡がとれる電話番号を記入してください。
- ・履歴書の返送はしませんので予め了承ください。

◆受付期間

8月20日(月)～9月7日(金)必着

※郵送の場合は当日消印有効。

◆採用方法

後日、試験を行い採用の可否を決定します。

【問合せ】●学校教育課

担当 南里・辻田

☎73・8807

※予定のため内容が変更になることがあります。

	職種	業務内容	必要な資格など	基本的な勤務形態	主な勤務場所	募集人員(予定)	賃金(予定)
日々雇用職員	学校事務補助員	学校事務補助	無	月17日程度(1日5時間)	三里小学校	1	時給 813円

全国一斉の緊急情報の伝達試験を行います!

地震や津波、武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（ジェイ・アラートJ-ALERT）から送られてくる国からの緊急情報を、防災行政無線を使って確実に皆さんへお伝えするため、緊急情報伝達手段の試験を行います。

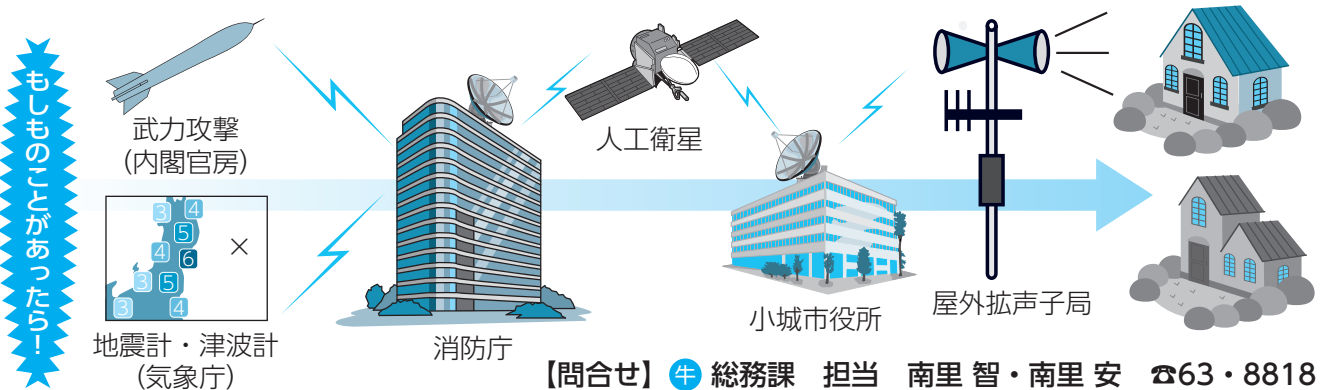
◆試験日時

9月12日(水) 10時頃と
10時30分頃の2回実施します。
※全国各地で実施されます。

◆小城市での放送内容

【放送内容】「これは、試験放送です。」(3回繰り返し)
+「こちらは、防災小城市です。」+防災行政無線チャイム
※夕方の定時放送と同じくらいの音量で放送します。

全国瞬時警報システムとは、津波警報、武力攻撃・大規模テロなどの対処に時間的余裕のない緊急情報が、国から人工衛星を介して送信され、これを市が受信し、防災行政無線を自動的に起動することにより、24時間体制で瞬時にお知らせするものです。



対象年齢	支給額
80歳 (昭和6年9月3日～ 昭和7年9月2日生)	10,000円
88歳 (大正12年9月3日～ 大正13年9月2日生)	15,000円
100歳以上 (大正元年9月2日以前生)	30,000円

◆支給額

9月1日現在で、住民基本台帳の規定による住民となった日から1年以上居住し、年齢が80歳、88歳、100歳以上の方

◆対象者

高齢者の長寿を祝って、9月に敬老祝い金をお渡しします。申請の手続きは必要ありません。担当地区の民生委員さんが対象者宅へ訪問し、手渡されます。

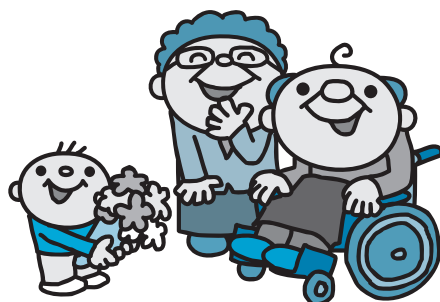
敬老のお祝い

◆対象とならない場合

- ①対象者が8月31日(金)までに死亡された場合
- ②対象者が所在不明の場合

◆支給期間

9月7日(金)～9月14日(金)



【問合せ】 ☎ 福祉課
担当 村岡 和・牟田
☎73・8820



9月から!

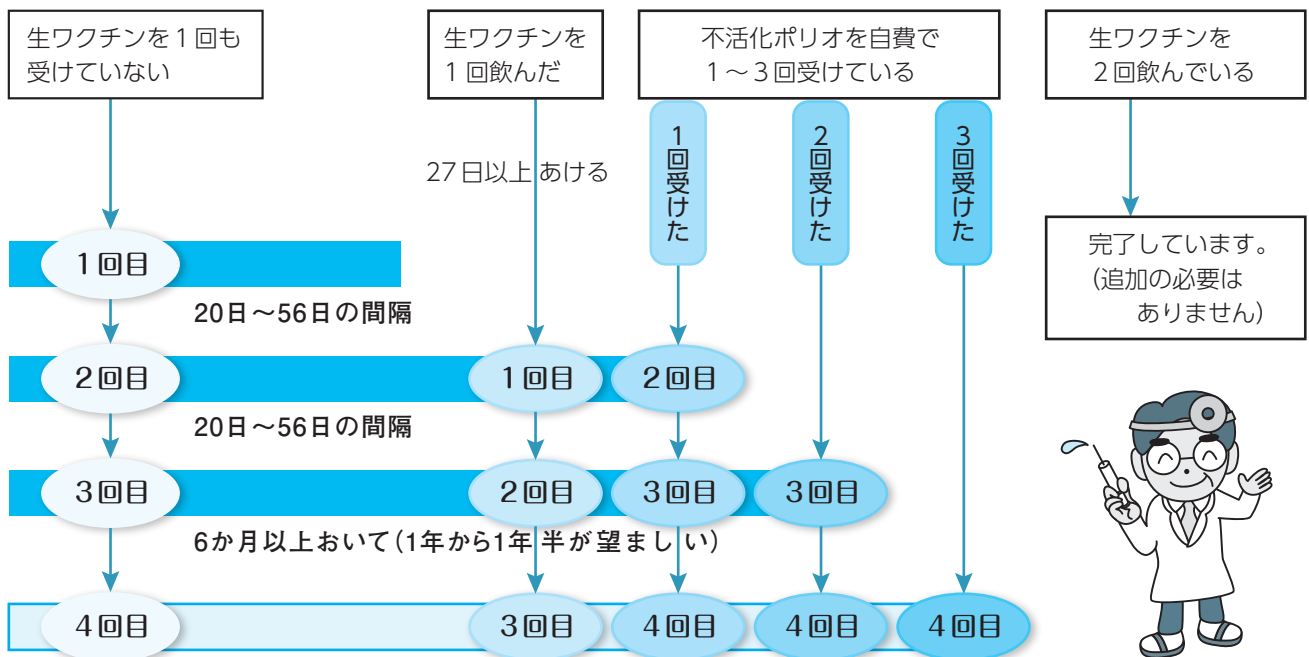
「不活化ポリオワクチン」の接種が始まります!

今まで、経口生ワクチンを実施していましたが、予防接種法の改正で、9月1日（土）から不活化ポリオワクチンの注射に変わる予定です。このため、10月以降に各保健福祉センターで予定していた生ポリオワクチン投与は実施しません。

※不活化ポリオワクチンとは、科学処置などで抵抗力（免疫）をつくるのに必要な成分を取り出して毒性をなくしたものです。
 ※3種混合ワクチン(ジフテリア・破傷風・百日咳)にポリオワクチンが含まれた4種混合ワクチンは、11月から予定されています。

◎不活化ポリオワクチン予防接種はこう変わる予定です!!

このワクチンの対象月齢は生後3か月～7歳6か月に至るまでです。



※9月1日の時点では、□の追加接種は定期接種になっていないため自費になります。国内臨床データが整い次第補助導入予定です。
 ■は、生後3～12か月までに接種することが望ましい接種時期です。

◎接種ができる市内の医療機関

市内だけでなく、県内の医療機関で接種することができます。9月以降に医療機関へ申し込んでください。

町名	医療機関名	電話番号	町名	医療機関名	電話番号
小城市	伊東医院	73・3235	三日月町	古賀医院	73・2067
	豊田医院	72・2031		ひろおか内科・神経内科クリニック	73・8022
	やなぎしまこども医院	73・3666		坂田クリニック	72・1151
	酒井内科クリニック	71・1377		まなべ消化器内科クリニック	72・3636
	野田好生医院	72・3232		いなだ小児科・アレルギー科	72・7800
	石井外科医院	73・3641		牛津町	しまうちクリニック
	小城市民病院	73・2161	村岡内科医院		66・3750
			芦刈町	徳富医院	66・1547

【問合せ】 ☎ 健康増進課 担当 南里・橋間 ☎73・8822

小 小城市庁舎 ☎ 三日月庁舎 ☎ 牛津庁舎 ☎ 芦刈庁舎

9月～12月の毎月10日は「健診デー」です！ ～家族のためにも健診を受けましょう～

今年の健診はお済みですか？

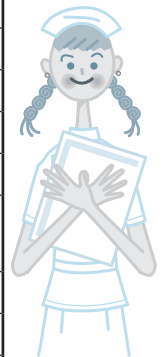
今年度、まだ受診されていない方を対象に、9月～12月までの毎月10日を「健診デー」として、特定健診などを行います。（健診内容は下表を参照）

市の特定健診の受診率は、38.9%（平成22年度）と低く、特に働き盛りの男性の受診率が低いようです。自覚症状はなくても、体の中で起こっている変化を知る機会になり、生活習慣の改善により病気を予防できます。

健診デー	月	日	曜	場所	受付時間	健診内容
健診デー	9	10	月	桜楽館	8：30～ 10：30	特定健診・一般健診・後期高齢者健診 結核・肺がん・大腸がん検診 前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診 ※すべての日程で受診ができます。
	10	10	水	桜楽館		
	11	10	土	アイル		
	12	10	月	桜楽館		

※毎月10日の「健診デー」では、胃がん・子宮頸がん、乳がん検診は実施しません。

健（検）診名	対象者	料金
特定健診	40歳～74歳の小城市国保加入者	1,000円
	小城市国保以外の社会保険の被扶養者	各保険者の受診券に表示
一般健診	20歳～39歳	1,500円
	40歳以上の生活保護世帯	無料
後期高齢者健診	75歳以上等の後期高齢者医療制度加入者	無料
結核検診	65歳以上	無料
肺がん検診	40歳以上	レントゲン 100円
		レントゲン+ ^{かくたん} 喀痰 600円
大腸がん検診	40歳以上	400円
前立腺がん検診	50歳以上の男性	500円
肝炎ウイルス検診	20歳以上で過去に検査を受けていない方	無料



◆もってくるもの

〈特定健診〉40歳～74歳

小城市国保に加入の方

- ・健康保険証
- ・特定健診受診券（藤色）
- ・特定健診問診票

社会保険の被扶養の方

- ・健康保険証
 - ・「特定健診受診券」保険者から発行されます。
- ※詳しくはご加入の保険者へお問い合わせください。

〈一般健診・後期高齢者健診・がん検診・肝炎ウイルス検診〉

- ・総合健診実施通知書

※通知を紛失された方は、健診当日に会場で再発行しますので、受け付けで申し出てください。

※後期高齢者医療制度加入者、生活保護世帯の方は、無料で受診できます。会場でお申し出ください。

【問合せ】 ☎ 健康増進課 担当 吉次・松尾 ☎73・8822

買い物支援協力店を大募集!!

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、見守りと買い物支援の充実に協力していただける商店などを募集しています。

◆募集期限 8月31日(金)

◆協力店の種類

・おとどけ店 (訪問支援型)

商品の配達や出張サービスを行っていただけるお店

・よりどころ店 (店内配慮型)

店内での補助や購入品の車までの運搬などの配慮をしていただけるお店



◆条件など

- ・店頭に「協力店の表示」
- ・福祉施策への協力 (訪問時の声かけなど)
- ・利用状況など調査への協力

【問合せ・申込み】 ③ 福祉課

担当 山本・中島

☎ 73・8825

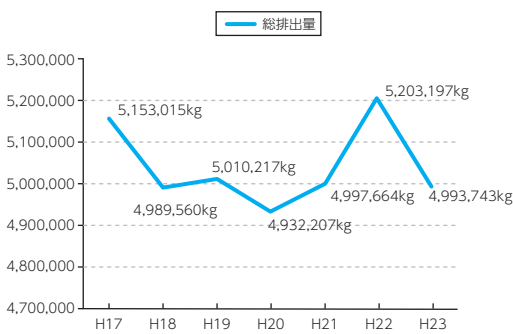
地球の温暖化を防止しよう

地球温暖化の原因といわれる温室効果ガスの排出量削減のため、平成17年度(基準年)の数値から平成23年度までに6%を削減目標とする「小城市地球温暖化防止実行計画」を策定し、市役所で取り組んできました。

目標年度である平成23年度を終えて

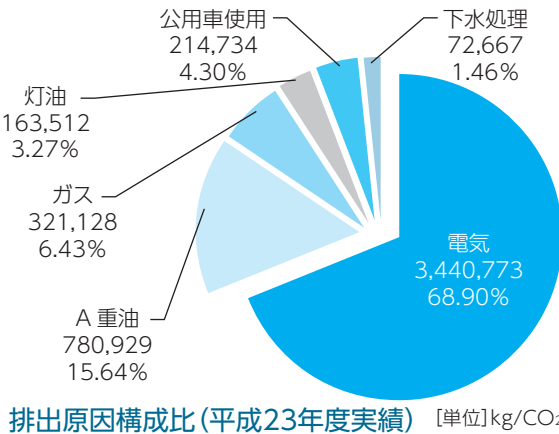
今年度に排出した温室効果ガスは、平成17年度(基準値)からすると3・1%の減となりました。

温室効果ガス総排出量の年間推移



内訳は、各庁舎や学校、保健福祉センターなどで使用される照明などの「電気使用」によるものが昨年同様、全体の約70%。次いで、各施設の空調施設、公用車などで使用される「燃料使用」によるものが、残りの約30%を占めています。

内訳は、各庁舎や学校、保健福祉センターなどで使用される照明などの「電気使用」によるものが昨年同様、全体の約70%。次いで、各施設の空調施設、公用車などで使用される「燃料使用」によるものが、残りの約30%を占めています。



昨年比べ、削減できた要因は、東日本大震災の影響で取り組んでいる節電によるものです。

「電気使用」による温室効果ガス総排出量が、前年度に比べ5・1%

の減少となりました。しかし、公共下水処理場の稼働、教育施設の整備など、市民には欠かせない「電気使用」は、年々増加しています。震災後の節電を一過性のものではなく、地球温暖化対策のために継続し、将来につなげていくことが大切になってきます。

市役所は次の取り組みを行い、さらなるCO₂削減を目指します

- ◆ 昼休み時間など、 unnecessary 施設照明の消灯
- ◆ 不必要時のコピー機など、OA機器の電源を切る
- ◆ 空調の適切な温度設定 (夏は28度、冬は20度)
- ◆ 夏はクールビズ、冬はウォームビズの励行
- ◆ 公用車のエコドライブ (適切な管理)
- ◆ 環境に配慮した公共事業の実施
- ・ 再生資源の利用など

【問合せ】 ① 環境課

担当 吉岡・福元

☎ 73・8803